



高座清掃施設組合は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

高座清掃施設組合

SDGs 取組評価書

令和6（2024）年度

高座清掃施設組合

令和7年6月

目次

1. SDGs 取組の評価	1
(1) 個々の取組における総合評価.....	1
(2) PDCAサイクルにおける評価.....	1
(3) 評価の公表.....	1
2. SDGs 個々の取組の評価	2
(1) 廃棄物処理施設の適正管理.....	2
(2) 周辺生活環境の保全.....	2
(3) 廃棄物の減量・資源化の推進.....	2
(4) 温室効果ガスの排出抑制.....	2
(5) エネルギーの有効活用.....	3
(6) 環境学習の推進.....	3
(7) 地域との信頼関係.....	3
(8) 旧施設解体事業.....	4
(9) 周辺環境整備事業.....	4
3. あとがき	5

1. SDGs 取組の評価

(1) 個々の取組における総合評価

令和6年度、高座清掃施設組合では、9件の取組を定め、それぞれの取組の実行、管理を行いました。

個々の取組では、高座クリーンセンターを安全・安心な施設として運営管理することや、各種分析等の公表、低炭素・循環型社会形成に向けた地域づくり、質の高い環境学習など、SDGs 17のゴールに向けた取組が着実に実施できていると実感しています。

また、周辺環境整備や、旧施設の解体等の各種事業は工事完了に向けて、引き続き工事を進めております。

高座清掃施設組合が定めた9件の取組は、令和6年度において、全ての事業で実施、確認を行うことができました。

(2) PDCAサイクルにおける評価

令和6年度の取組については、令和5年4月に策定した高座清掃施設組合 SDGs アクションプログラム (Plan) に基づき、SDGs 取組一覧に準じて実行 (Do) して参りました。本年の評価 (Check) において、全ての事業で実施、確認できたことから、引き続き令和7年度の行動 (Action) につなげていきます。

(3) 評価の公表

令和6年度取組の評価 (本書) は、高座清掃施設組合ホームページに掲載し、公表します。

2. SDGs 個々の取組の評価

(1) 廃棄物処理施設の適正管理

令和6年度に実施した各種分析においては、全ての項目で環境基準値を満たしております。

じん芥処理施設にて、令和6年度に実施したダイオキシン類、排ガス、ごみ質、焼却残さの熱しゃく減量、焼却飛灰処理物溶出試験及び鉛溶出試験、排水分析において基準値の超過等は無く、適正な施設管理を行いました。また、水処理施設・最終処分場も、各種試験、分析において基準値の超過等は無く、適正な施設管理を行いました。

令和6年度においては、内容物検査職員の緊急時（火災警報）の対策方法及び運転マニュアルの見直しを行いました。

今後も継続して廃棄物処理施設の適正管理に努めてまいります。

(2) 周辺生活環境の保全

令和6年度に実施した周辺ダイオキシン類測定においては、全ての項目で環境基準値を満たしております。また、最終処分場上流側において、測定箇所を新たに1検体設けました。

騒音・振動測定、臭気測定においても、全ての項目で環境基準値を満たしております。

今後も継続して周辺生活環境の保全に努めてまいります。

(3) 廃棄物の減量・資源化の推進

令和6年度においても、内容物検査を毎日実施し、搬入不適物の混入抑制に努めました。

具体的には、資源物及び搬入不適物を持ち込んだ事業者に対し、口頭注意及び該当品目の持ち帰りを指示いたしました。

廃棄物の受入基準については、排出されるごみの性状と焼却等の処理状況を確認し、多様化するごみ排出の現状に合わせた現受入基準の適正性について検討を実施しました。

今後も継続して廃棄物の減量・資源化の推進に努めてまいります。

(4) 温室効果ガスの排出抑制

令和6年度においては、クールビズ、ウォームビズの実施による空調機器の使用抑制、紙類の使用削減、節電の実施及び電気自動車の使用により

省エネルギーの取組を実施し、温室効果ガス排出抑制を推進いたしました。

今後も、地球温暖化対策実行計画の取組と連携した温室効果ガスの排出抑制に関する取組を推進してまいります。

(5) エネルギーの有効活用

高効率ごみ発電施設において年間353日稼働し、ごみ焼却熱を有効活用して発電を行い、ごみ処理施設、水処理施設、環境プラザ、屋内温水プールで使用する電力の供給を行いました。また、ごみ焼却によって発生する余熱を屋内温水プール及び本郷老人福祉センターへ供給し、プール水の温めやお風呂のお湯として有効活用しました。

今後も、事業活動により生じた熱エネルギーを有効活用し、季節を問わずたくさんのお客さまにお楽しみいただけるよう、安定したエネルギー供給の取組を継続してまいります。

(6) 環境学習の推進

令和6年度の施設見学来場者は、団体見学31団体延1,205人、個人見学19,710人の受入れを行い、合計20,915人となりました。また、受入れた団体見学のうち構成市内小学校の社会科学習として15校986人の小学生を受入ました。その他にごみ処理施設、環境プラザ、温水プールにて職場体験学習として近隣中学校4校11人の受入れを行いました。

環境啓発イベントとして、ごみ分別釣りゲーム、リサイクル工作などの体験型イベントのほか、屋内温水プールと合同でSDGsフェスティバルを開催するなど、年間101回開催し、4,998人が参加されました。

その他、環境プラザ啓発活動コーナーを利用した環境啓発として、市内ハザードマップの掲示や、外来生物に関する情報提供等を実施しました。

今後も、私たちの事業活動を見学いただくことで、環境について学ぶ機会をご提供できるよう取組を継続してまいります。

(7) 地域との信頼関係

令和6年度は、当組合の地元団体である高座清掃施設組合処理場対策協議会及び根公害対策委員会に対し、定例報告会を2回（6月及び12月）実施いたしました。

報告会では、私たちの事業活動に伴う各種分析結果の報告、施設利用者の推移、施設建設事業等の進捗状況の他、当組合を構成する3市職員も出席し、各市のごみ減量化の状況説明が行われました。

今後も本定例報告会を継続し、構成市の清掃行政の一端を担う組合として、地域住民の皆さまにご安心いただけるよう信頼関係の構築に努めてまいります。

(8) 旧施設解体事業

第二清掃処理場解体工事は、新たに確認された多量の石綿含有建材の除去工事に時間を要し、工事の進捗が遅れています。

令和6年度は、石綿含有建材（レベル2）の一部除去や有害物質調査を行いました。

令和7年度は、石綿含有モルタルの除去、ダイオキシン類の除染、橋梁解体撤去などを実施します。

引続き、周辺環境に影響がないようアスベストやダイオキシン類等の暴露飛散防止を徹底し、早期の解体完了を目指し工事を進めてまいります。

(9) 周辺環境整備事業

本郷ふれあい公園（第二工区）整備工事は、令和6年度に敷地造成、雨水貯留施設、マンホールトイレ、擁壁設置等の工事を施工しました。

令和7年度は、令和8年4月のオープンに向け、植栽、管理施設、園路広場等の工事を施工します。

公園整備は、防災機能を備え、地域に寄り添い、自然と動植物に触れあえる施設として、令和8年度の供用開始に向けて、引き続き工事を進めてまいります。

3. あとがき

私たち SDGs 推進チーム 2024 は、令和 3 年度に創設された初代 SDGs 推進チームが試行錯誤を繰り返し築き上げた高座清掃施設組合 SDGs アクションプログラムを継承し、これを有効活用するため職員の先頭に立って行動し、また、当組合が行っている SDGs の活動を、多くの方々に知っていただくための啓発活動を行いました。

啓発活動としては、11 月 24 日に、「2024 高座 SDGs フェスティバル」を開催し、プールやプラザを使った各種イベントに加え、本郷荘や新たに本郷ふれあい公園も会場に加えることで、一体的に実施しました。

私たち SDGs 推進チームは、高座 SDGs フェスティバルに参加し、一般来場者を対象にポスター掲示及び口頭説明により、高座清掃施設組合 SDGs アクションプログラムによる SDGs の啓発を行いました。

当日ブースには、193 人の方に来場いただき、当組合の活動に興味をもっていただいたと感じています。

今後も、このような啓発活動を通じて、多くの方に当組合の活動を知っていただき、SDGs 活動を継続します。

'S pecial **G**"- D on't S top for Re Birth = Live Earth

一人一人に「特別な G」がある限り、地球の再生と生命の活動は止まらない



※ 本評価書は、高座清掃施設組合が行う事業を、高座清掃施設組合 SDGs アクションプログラムに合わせて評価したものになります。個々の分析結果等については、高座清掃施設組合ホームページからご覧ください。

高座清掃施設組合 SDGs 取組評価書

令和7（2025）年6月
発行者：高座清掃施設組合
編集：SDGs 推進チーム2024
